

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2027年5月14日まで（2017年8月30日設定）
運用方針	<p>豪ドル建ての国債、政府機関債、州政府債、社債、資産担保証券（ABS）、モーゲージ証券（MBS）、国際機関債等に分散投資を行います。ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0-3年、円換算ベース）をベンチマークとします。</p> <p>ポートフォリオの平均格付は原則としてAA-格相当以上を維持することとし、投資する公社債は原則として取得時においてA-格相当以上の格付を取得しているものに限ります。</p> <p>ポートフォリオの平均デュレーションは原則としてベンチマーク±1年以内の範囲で調整します。なお、デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。公社債の実質投資比率は、100%を超えることがあります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>運用指図に関する権限は、UBSアセット・マネジメント（オーストラリア）リミテッドに委託します。</p>
主要運用対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 豪ドル年1回決算型ファンド

第2期（決算日：2019年5月15日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「豪ドル年1回決算型ファンド」は、去る5月15日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ブルームバーグオーストラリア債券 (総合)インデックス (0-3年、円換算ベース)	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	金 利 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落					
(設定日) 2017年8月30日	円 10,000	円 —	% —	523,338.43	% —	% —	% —	百万円 1,950
1期(2018年5月15日)	9,509	0	△4.9	501,349.91	△4.2	90.7	15.4	— 5,375
2期(2019年5月15日)	8,941	0	△6.0	475,252.39	△5.2	92.7	△2.6	— 9,989

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)とは、オーストラリアの債券市場の値動き(豪ドルベース)を表す指数で、残存期間が3年以内の銘柄で構成されています。ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年、円換算ベース)は、ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(0-3年)をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」、「金利先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグオーストラリア債券 (総合)インデックス (0-3年、円換算ベース)	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	金 利 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率				
(期首) 2018年5月15日	円 9,509	% —	501,349.91	% —	% —	% —
5月末	9,482	△0.3	499,940.04	△0.3	95.0	6.9
6月末	9,352	△1.7	493,491.72	△1.6	95.2	9.3
7月末	9,482	△0.3	500,830.19	△0.1	93.1	5.4
8月末	9,316	△2.0	492,224.10	△1.8	92.7	5.1
9月末	9,455	△0.6	500,299.13	△0.2	91.7	2.1
10月末	9,295	△2.3	492,112.94	△1.8	90.5	—
11月末	9,611	1.1	510,046.05	1.7	94.0	△3.0
12月末	9,078	△4.5	481,183.28	△4.0	94.7	△4.2
2019年1月末	9,182	△3.4	487,586.30	△2.7	93.9	△0.8
2月末	9,254	△2.7	491,685.52	△1.9	95.0	△1.8
3月末	9,217	△3.1	489,826.89	△2.3	93.3	△1.8
4月末	9,214	△3.1	489,932.98	△2.3	90.9	—
(期末) 2019年5月15日	8,941	△6.0	475,252.39	△5.2	92.7	△2.6

(注) 騰落率は期首比。

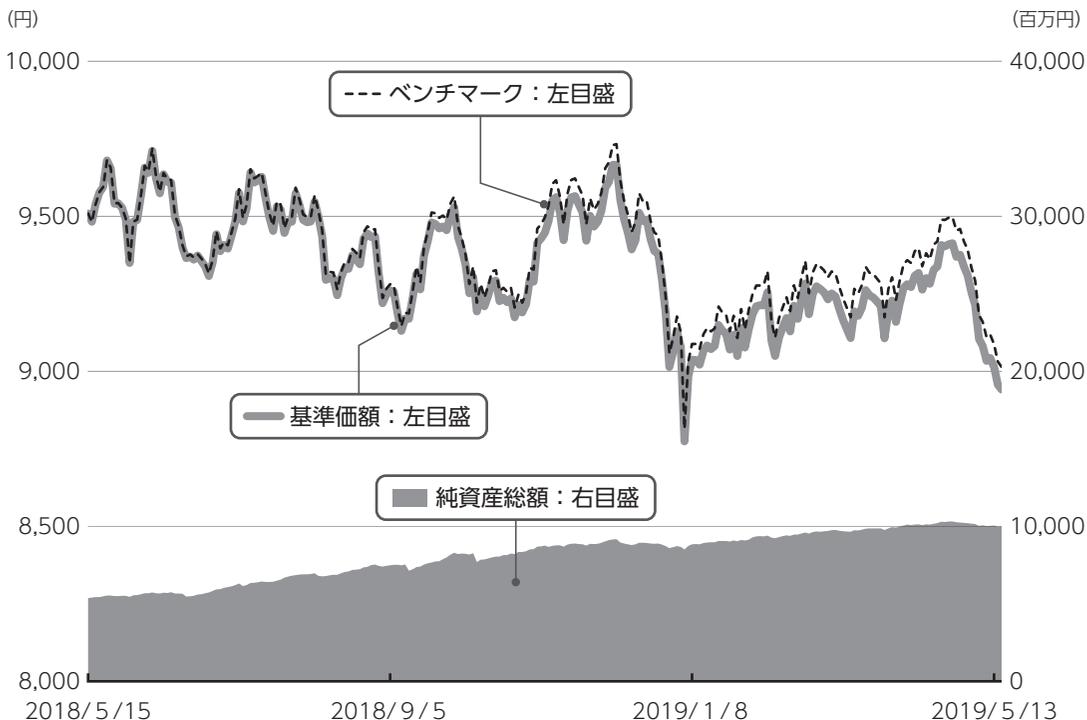
(注) 「債券先物比率」、「金利先物比率」は買建比率-売建比率。

# 運用経過

第2期：2018年5月16日～2019年5月15日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第2期首	9,509円
第2期末	8,941円
既払分配金	0円
騰落率	-6.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ6.0%の下落となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-5.2%）を0.8%下回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

豪州債券市況が上昇したこと等は基準価額の上昇要因となりました。

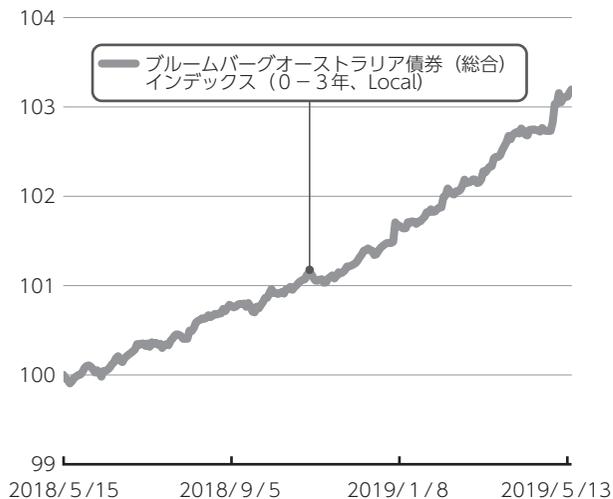
**下落要因**

豪ドルが対円で下落したこと等は基準価額の下落要因となりました。

第2期：2018年5月16日～2019年5月15日

## 投資環境について

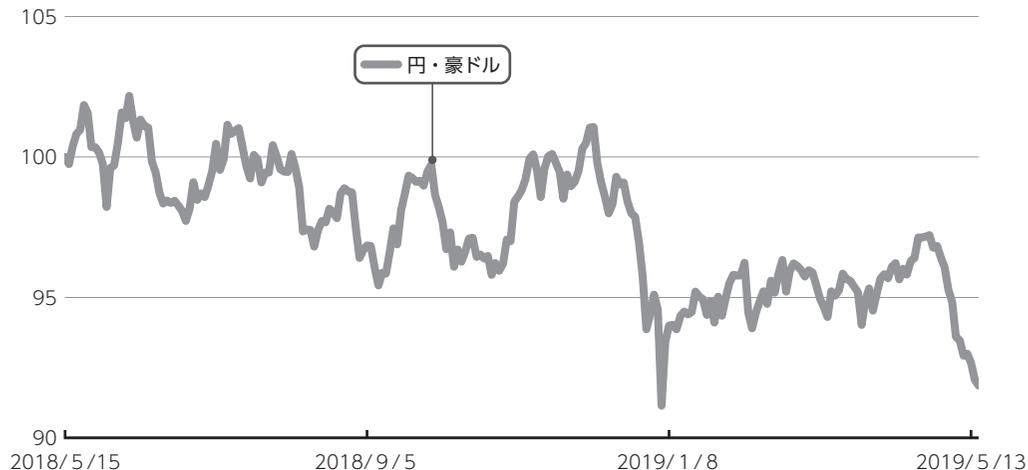
### 債券市況の推移 (期首を100として指数化)



### ▶ 債券市況

期首から2018年11月中旬にかけては、イタリアの政局混迷や米中貿易摩擦をめぐり動きなどに金融市場が左右される中で豪州債券市況は緩やかに上昇しました。11月中旬から期末にかけては、世界経済の減速懸念や米国の利上げ休止観測に加え、豪州連邦準備銀行（RBA）がハト派的な姿勢を強めたこと等から、豪州債券市況は一段と上昇しました。当期を通じて見ると、豪州債券市況は上昇しました。

## 為替市況の推移 (期首を100として指数化、対円)



### ▶ 為替市況

期首から2018年11月中旬にかけては、強弱材料が交錯し、豪ドルは対円で概ね横ばい推移となりました。

11月中旬から2019年1月上旬にかけては、軟調な豪州や中国の経済指標等を受けて、豪ドルは対円で下落しました。

その後、主要先進国の中央銀行によるハト派的な姿勢への転換等を受け、豪ドルは対円で底堅く推移したものの、豪州消費者物価指数（C P I）が市場予想を下回ったこと等を背景に、期末にかけて豪ドルは対円で下落しました。

当期を通じて見ると、豪ドルは対円で下落しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### 組入比率

当期を通じて現物債券を高位に組み入れました。また、機動的なデュレーション調整等の為に債券先物も一部組み入れました。

### デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首はベンチマークに対し長めの水準としていましたが、2018年8月にはデュレーションをベンチマークに対し中立の水準としました。その後、12月にはデュレーションをベンチマークに対し短めの水準としましたが、2019年1月にデュレーションをベンチマーク並みの水準とし、期末まで同水準で維持しました。

### イールドカーブ

バリュエーションの観点から1～2年、および3～5年ゾーンの債券を選好して運用しました。

### 債券種別（セクター配分等）

債券種別配分については、期を通じて、ベンチマークに対し、国債をアンダーウェイトとする一方、相対的な利回りの高さを享受するため、社債（事業債など）をオーバーウェイトとしました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当期の基準価額騰落率は、6.0%の下落となり、ベンチマークであるブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（0－3年、円換算ベース）の5.2%の下落を0.8%下回りました。信託報酬等がマイナスに影響したことによるものです。

### プラス要因

#### イールドカーブ

当期においては、ベンチマーク比でプラスとなりました。

#### デュレーション

当期においては、ベンチマーク比で小幅なプラスとなりました。

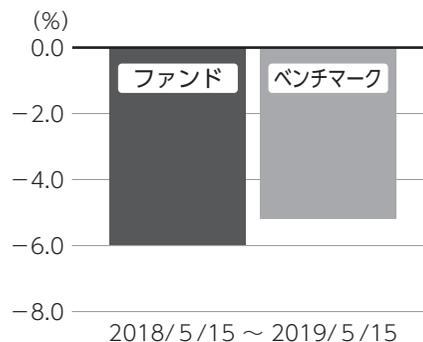
### 債券種別（セクター配分等）

当期においては、ベンチマーク比で小幅なプラスとなりました。

### マイナス要因

#### 信託報酬等

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2018年5月16日～2019年5月15日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	352

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

## 運用環境の見通し

米国と中国の経済指標には全般的な改善が見られます。主要中央銀行がハト派的な姿勢を強めていることは、今後の成長見通しを支えると期待されます。

豪州では、RBAは今後の金利見通しについて中立的な姿勢を示しています。一方、弱いインフレ指標の発表を受けて、市場は早期利下げの可能性を織り込んでいます。低金利環境による消費の下支え効果も見込まれることから、RBAは年内に2回、合計0.5%の利下げを実施する可能性があると考えています。

## 今後の運用方針

### 金利

現在、デュレーションをベンチマークに対し中立の水準としています。今後も金利水準や市場心理などを考慮しながら、必要に応じて機動的なデュレーション調整を行います。

### 債券種別 (セクター配分等)

社債など非国債セクターの組み入れを高めにして運用します。新規発行銘柄については、割安と判断される場合には積極的に組み入れを検討します。

2018年5月16日～2019年5月15日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	111	1.192	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(56)	(0.596)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(51)	(0.542)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(5)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.004)	
(c) その他費用	3	0.035	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(3)	(0.031)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	114	1.231	

期中の平均基準価額は、9,337円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

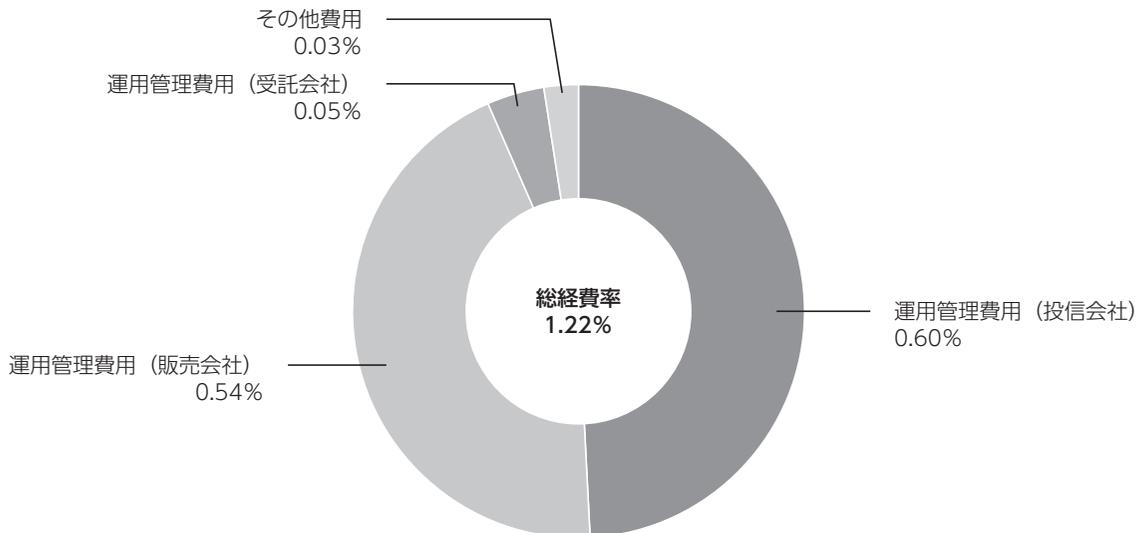
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.22%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年5月16日～2019年5月15日)

## 公社債

			買付額	売付額
外国	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 19,324	千オーストラリアドル 19,353
		地方債証券	513	—
		特殊債券	51,029	12,008 (6,000)
		社債券	47,048	5,532 (12,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	債券先物取引	百万円 3,238	百万円 4,056	百万円 2,087	百万円 1,815

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年5月16日～2019年5月15日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況 D	D/C	%
為替直物取引	百万円 303	百万円 6,032	5.0	百万円 —	百万円 1,286	—

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年5月16日～2019年5月15日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1,950	百万円 —	百万円 1,950	百万円 —	当初設定時における取得とその処分

## ○組入資産の明細

(2019年5月15日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 117,530	千オーストラリアドル 121,900	千円 9,257,095	% 92.7	% —	% —	% 44.7	% 48.0
合 計	117,530	121,900	9,257,095	92.7	—	—	44.7	48.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 年		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
オーストラリア	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円			
国債証券							
	2.0	1,500	1,529	116,118		2021/12/21	
	4.5	1,000	1,028	78,104		2020/4/15	
	5.75	6,000	6,527	495,669		2021/5/15	
地方債証券							
	4.25	1,000	1,026	77,983		2020/5/22	
特殊債券							
	1.75	2,000	2,013	152,884		2021/7/27	
	2.4	1,000	1,015	77,144		2021/6/7	
	2.4	8,000	8,079	613,545		2020/7/2	
	2.5	1,000	1,008	76,593		2020/4/30	
	2.5	3,000	3,049	231,598		2021/4/13	
	2.5	2,700	2,731	207,467		2020/7/22	
	2.7	900	931	70,741		2023/6/19	
	2.75	2,000	2,081	158,064		2022/10/20	
	4.5	3,300	3,643	276,670		2023/4/17	
	4.75	3,500	3,652	277,405		2020/11/19	
	5.0	2,000	2,089	158,711		2020/11/13	
	5.5	5,900	6,391	485,375		2021/6/21	
	6.0	3,000	3,198	242,917		2020/11/12	
	6.0	630	690	52,400		2021/6/14	
	6.0	1,300	1,480	112,459		2022/7/21	
	6.0	7,500	7,858	596,795		2020/6/15	
	6.5	1,000	1,012	76,919		2019/8/20	
	6.5	2,500	2,726	207,015		2021/4/12	
	7.0	2,000	2,234	169,722		2021/7/15	
	2.8706	1,500	1,510	114,711		2021/12/1	
普通社債券							
	2.6	2,000	2,014	153,012		2020/6/9	
	2.65	1,500	1,512	114,869		2020/6/10	
	2.75	3,200	3,270	248,344		2021/11/17	

銘柄	銘柄	利率	当期末			償還年月日
			額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	普通社債券					
	2.75 HSBC BANK 210816	2.75	1,400	1,423	108,078	2021/8/16
	2.75 TOYOTA MOTOR 210726	2.75	1,000	1,018	77,322	2021/7/26
	2.9 COMMONWEALT 210712	2.9	1,500	1,532	116,411	2021/7/12
	3 BHP BILLITON FI 200330	3.0	1,500	1,514	114,980	2020/3/30
	3 ING BANK (AUSTR 230907	3.0	600	620	47,091	2023/9/7
	3 PACCAR FINANCIA 220913	3.0	1,000	1,028	78,107	2022/9/13
	3 SUNCORP-MET 230913	3.0	800	825	62,725	2023/9/13
	3.1 WESTPAC BAN 210603	3.1	3,000	3,075	233,515	2021/6/3
	3.25 AUST & NZ B 200603	3.25	1,500	1,522	115,599	2020/6/3
	3.25 COMMONWEALT 220331	3.25	2,000	2,073	157,444	2022/3/31
	3.25 LLOYDS BANK 200401	3.25	1,500	1,515	115,123	2020/4/1
	3.25 MACQUARIE BA 200303	3.25	1,500	1,515	115,093	2020/3/3
	3.75 AUST & NZ BA 190725	3.75	500	501	38,111	2019/7/25
	3.75 AUSTRALIAN 191205	3.75	2,800	2,815	213,779	2019/12/5
	4 AUSTRALIA PACIF 220915	4.0	500	528	40,099	2022/9/15
	4 NATIONAL AUSTRA 211216	4.0	3,000	3,159	239,903	2021/12/16
	4 WELLS FARGO & C 190808	4.0	1,000	1,004	76,282	2019/8/8
	4.5 FONTERRA COOP 210630	4.5	2,000	2,103	159,769	2021/6/30
	5 AUSTRALIA PACIF 200604	5.0	500	516	39,197	2020/6/4
	5.25 WESTPAC BANK 231121	5.25	1,400	1,592	120,899	2023/11/21
	5.5 QIC SHOPPING 191120	5.5	3,500	3,531	268,182	2019/11/20
	5.5 SGSP AUST 210312	5.5	600	637	48,422	2021/3/12
	5.5 STOCKLAND TRU 190906	5.5	500	505	38,355	2019/9/6
	FRN AMP BANK LIM 201006	2.4734	500	498	37,855	2020/10/6
	FRN BANK OF NOVA 210907	2.6233	1,500	1,503	114,181	2021/9/7
	FRN COLONIAL HOLD 200120	2.8862	2,000	2,002	152,101	2020/1/20
	FRN COMMONWEALT 211117	2.8	500	504	38,302	2021/11/17
	FRN ING BANK (AUS 210907	2.4433	2,000	2,000	151,932	2021/9/7
	FRN SUNCORP-MET 230913	2.6371	1,000	998	75,858	2023/9/13
	FRN TELSTRA COR 210419	2.5062	2,500	2,503	190,150	2021/4/19
	FRN TORONTO-DOMIN 201222	3.22	1,500	1,522	115,601	2020/12/22
	FRN UNITED ENERGY 230207	2.515	1,500	1,492	113,364	2023/2/7
合	計				9,257,095	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

### 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	銘柄	別	当期末	
			買建額	売建額
外国	債券先物取引	AUST3Y	百万円 —	百万円 259

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 9,257,095	% 92.1
コール・ローン等、その他	793,002	7.9
投資信託財産総額	10,050,097	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (9,666,913千円) の投資信託財産総額 (10,050,097千円) に対する比率は96.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=75.94円		
--------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,080,469,834
コール・ローン等	687,474,946
公社債(評価額)	9,257,095,733
未収入金	30,372,000
未収利息	81,008,152
前払費用	14,935,767
その他未収収益	1,911,224
差入委託証拠金	7,672,012
(B) 負債	91,158,654
未払金	30,765,860
未払解約金	4,640,348
未払信託報酬	55,570,353
未払利息	284
その他未払費用	181,809
(C) 純資産総額(A-B)	9,989,311,180
元本	11,172,625,976
次期繰越損益金	△ 1,183,314,796
(D) 受益権総口数	11,172,625,976口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,941円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 5,653,174,264円  
 期中追加設定元本額 8,053,859,250円  
 期中一部解約元本額 2,534,407,538円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8941円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,183,314,796円です。

## ③分配金の計算過程

項 目	2018年5月16日～ 2019年5月15日
費用控除後の配当等収益額	166,544,204円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	192,087,985円
分配準備積立金額	35,556,640円
当ファンドの分配対象収益額	394,188,829円
1万口当たり収益分配対象額	352円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

④信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の25以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

## ○損益の状況 (2018年5月16日～2019年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	266,547,004
受取利息	266,474,228
その他収益金	36,031
支払利息	36,745
(B) 有価証券売買損益	△ 677,821,001
売買益	58,938,494
売買損	△ 736,759,495
(C) 先物取引等取引損益	△ 3,783,362
取引益	4,239,789
取引損	△ 8,023,151
(D) 信託報酬等	△ 100,002,800
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 515,060,159
(F) 前期繰越損益金	△ 124,427,823
(G) 追加信託差損益金	△ 543,826,814
(配当等相当額)	( 192,087,985)
(売買損益相当額)	(△ 735,914,799)
(H) 計(E+F+G)	△1,183,314,796
(I) 収益分配金	0
次期繰越損益金(H+I)	△1,183,314,796
追加信託差損益金	△ 543,826,814
(配当等相当額)	( 192,087,985)
(売買損益相当額)	(△ 735,914,799)
分配準備積立金	202,100,844
繰越損益金	△ 841,588,826

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。